



## 崩壊している検査態勢

市内でも連日の感染拡大で、学校の学級閉鎖なども相次いでいます。クラスター発生を防ぐため備蓄の抗原検査キットなどもフル回転で活用されています。

「無症状者の無料PCR検査は薬局で」と告知しましたが、感染拡大の中、全国的な検査キットの不足が進み、発注しても薬局には検査キットがなかなか入りません。発熱等のコールセンターも電話がつながりにくく、緊急対応が難しくなっています。国の無策ぶりがまたしても露わに…

共産党では国、県市、それぞれ要望を届けています。お困りごと、ご意見遠慮なくお寄せ下さい。

**感染がらみの自宅への食料支援  
問い合わせ先**

西部保健所(0538)27・2585

## 申請開始です

### 事業復活支援金(1/31~)

コロナの影響で30%以上の売上げ減の事業者  
前回の持続化給付金と同じような申請です

### 住民税非課税世帯等 臨時特別給付金(2/1~)

昨年住民税を払っていても家計が急変した場合も申請できます。  
分からない時はご相談下さい。確定申告書類といっしょに準備しましょう!



菜花

## 1月全員協議会報告②

たまりくなの今後

ワークショップやアンケートの結果を示し、4年後にプールやお風呂を廃止してリニューアル。公共施設マネジメント計画にもとづいて、次の指定管理を2年に短縮という提案。

22世紀の丘公園は大きな屋外遊具やゆったりと遊べる芝生広場が広がり、休日など親子連れがたくさん遊びに来ています。



子育て世帯だけではなく、歩きやすい遊歩道を四季を感じながらウォーキングをする高齢者も多く、シニアクラブの拠点で社協さんの主催する行事も優先的に組まれます。ホールや会議室の利用も多く、バリアフリーで高齢の方でも利用しやすい

水深の浅いプールやお風呂は健康増進のために毎日のように利用しているかたもいます。「公共施設マネジメント」とお風呂やプールは廃止を前提にしているのか。アンケートは、子育て世代の回答比率が高く、プール常連者は「なくなると困る」と回答しています。

壊れたボイラーも直すこともせず、「水温低いです」では、水中運動でリハビリの市民の健康を考えているとは思えません。

広がる森を使った環境学習や自然観察会を市民団体と共に行なうとか、高齢者向け健康教室をプールもうまく使って開催するとか、屋内の子育て施設をつくって木育を取り入れるとか、豊かな複合施設をめざし、市役所各部署や市民のアイデアを取り入れ、日時や場所の棲み分けをしながらもつと有効活用できないものでしょうか。

## 第4次男女共同参画行動計画 (来年度から5年間)の提案

目指す姿は「性別にかかわらずなく、誰もが活き活きと暮らすことができるまち掛川」

「男だ、女だと取り立てていう時代ではない。男女共同参画という言葉がなくなる社会がいい。」と市長や男性議員。

しかしジェンダー平等度は世界120位。女性労働の評価は低く女性が多いケア労働や非正規賃金も上がらない。議員、管理職、自治組織の長などの女性比率は低く、決定のプロセスにそもそも女性が決定的に少ない。この不公正さ、不平等をまずは解消させるため、必要な施策は計画と目標をもって取り組むべきです。

「アンコンシヤスバイアス」という言葉をご存じですか? 無意識に持っている偏見のこと。これが男女の役割分担論や男らしさ女らしさ論の正体でもあります。



孫におひな様を送ろうとした時、「僕らは女の子はかわいいおひな様、男の子は武者人形というのは違うと思う。そういう子育てはしない」と息子に言われ、はっとしました。どんどん乗り越えている若い世代に期待します。